

真備地区の復旧・復興に向けた 取組状況について

～ 目次 ～

1. 河川事業の進捗	…p 1
・小田川及び支川における堤防強化等の 工事について(国・県・市)	…p 2
・小田川合流点付替え事業の工事状況(国)	…p 3
・末政川・高馬川・真谷川における 堤防強化等の進捗状況(県)	…p 7
・有井橋架替工事に伴う橋梁部の 全面通行止めについて(県)	…p 8
・仮橋完成に伴う国道486号川辺橋の 運行再開(県)	…p 10
2. まびふれあい公園の整備	…p 11
・まびふれあい公園の整備	…p 12
3. 生活支援などの状況	…p 16
・住宅支援	…p 17
・被災者見守り・相談支援	…p 18
4. 地域防災力向上への取り組み	…p 19
・避難地・避難路の整備	…p 20
・防災教育の推進	…p 23
・地域防災力の強化	…p 24
・防災の普及・啓発	…p 25
・他市町への災害支援	…p 26
・流域治水の推進	…p 27
5. にぎわい創出に向けた取り組み	…p 28
・真備のにぎわい創出に向けた 地域活動への支援(例)	…p 29
・にぎわい創出	…p 30
6. 真備地区復興計画の推進	…p 32

1. 河川事業の進捗



1

小田川及び支川における堤防強化等の工事について

(国・県・市)



- 国・県・市の連携・協力により、小田川及び県管理河川（末政川、高馬川、真谷川）、市管理河川（大武谷川、背谷川、内山谷川）において、小田川合流点付替え事業や重点的な堤防整備（堤防強化、堤防嵩上げ等）を行うとともに、高梁川・小田川の河道掘削等を実施



2

小田川合流点付替え事業の工事状況（国）

- 令和5年度末（令和6年3月）の完成を目指し、工事を実施中
- 現在、河道付替え部（①、②）や新合流点等の掘削を実施するとともに、掘削で発生した土砂等を活用し、締切堤防築堤・護岸の整備を実施中



【進捗率】

設計	100%
用地・補償	100%
工事	84%

※令和5年10月1日時点

工事内容	2018	2019	2020	2021	2022	2023
仮設工事	[Progress bar]					R5.6南山掘削完了
掘削・築堤	[Progress bar]					
貯水池河道整正	[Progress bar]					
橋梁架設	[Progress bar]			下部工	上部工	R4.8.17開通

小田川合流点付替え事業の工事状況（国）



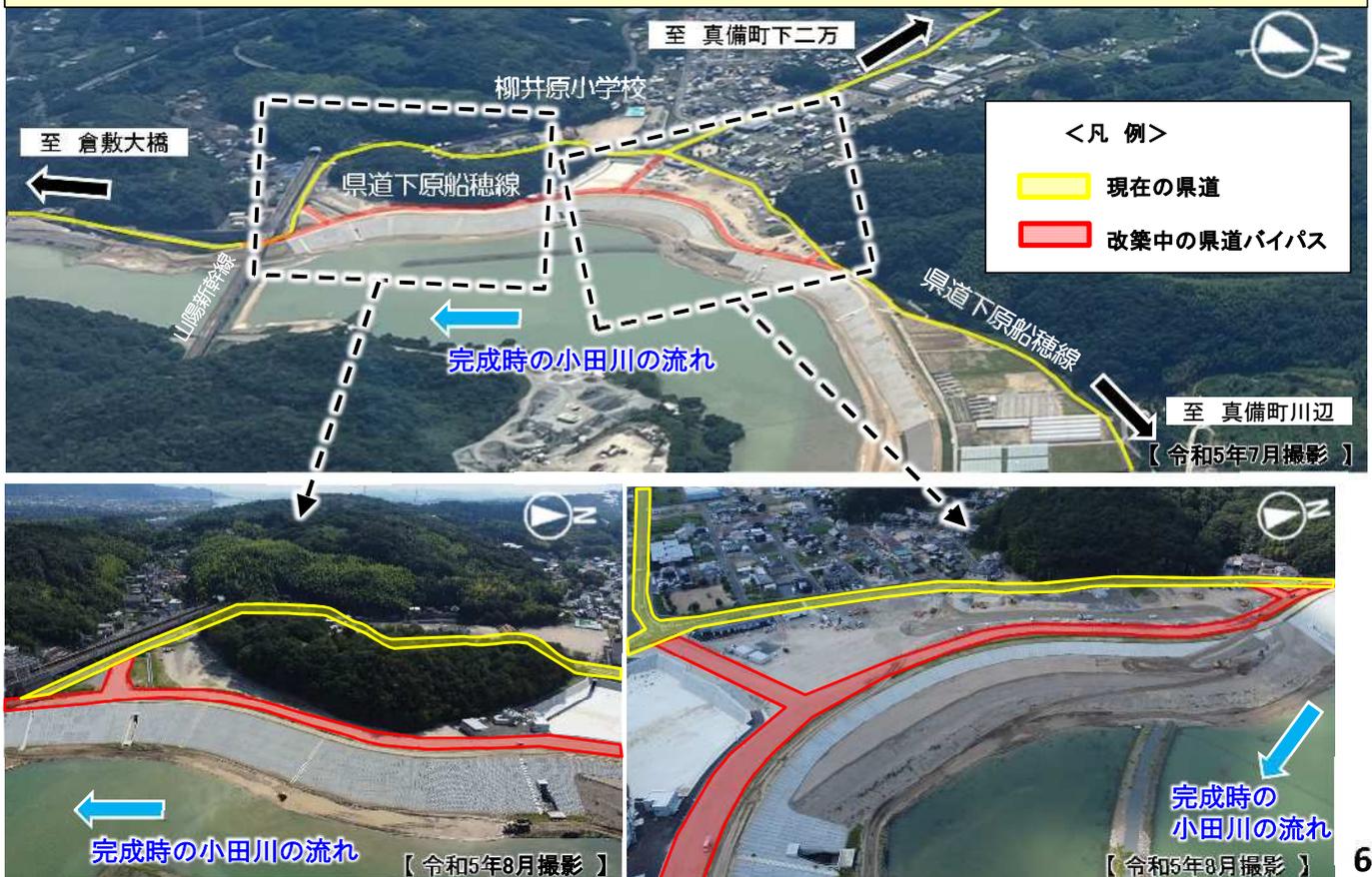
小田川合流点付替え事業の工事状況（国）

○小田川合流点付替え事業として、令和5年10月29日（日）に、事業の節目として通水地点より新しい流路（付替区間）に通水を開始

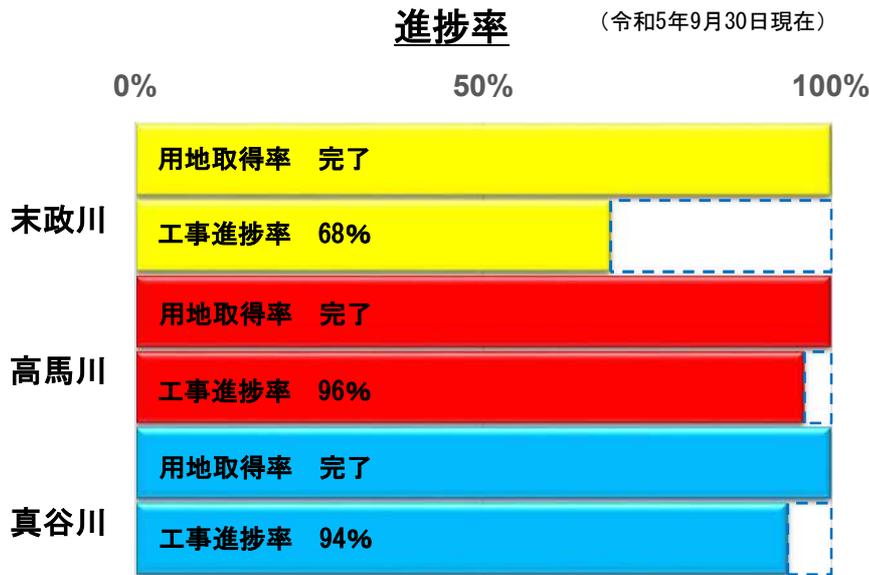


小田川合流点付替え事業の工事状況（国）

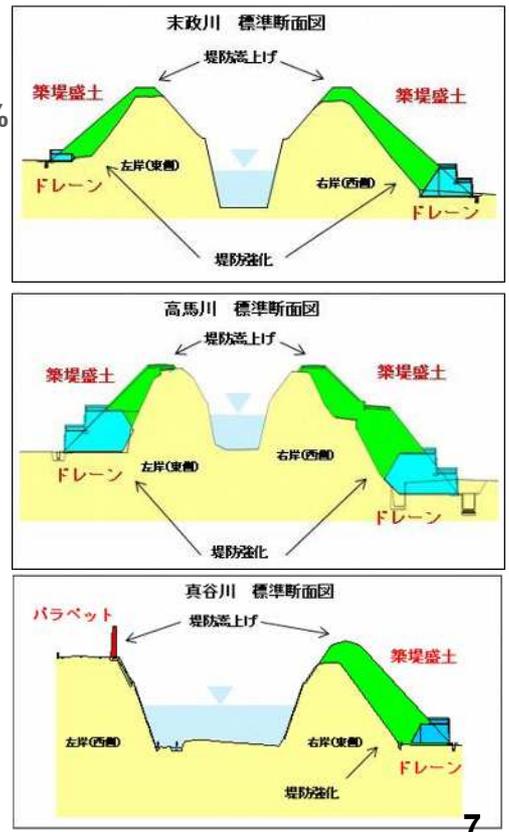
○柳井原地区の県道バイパスが、令和5年12月下旬に供用開始予定



○ 県河川の堤防強化等を実施。令和5年度末に工事完了予定



※真備3河川全体
 用地取得率 完了
 工事進捗率 84%



有井橋架替工事に伴う橋梁部の全面通行止めについて（県）  倉敷市

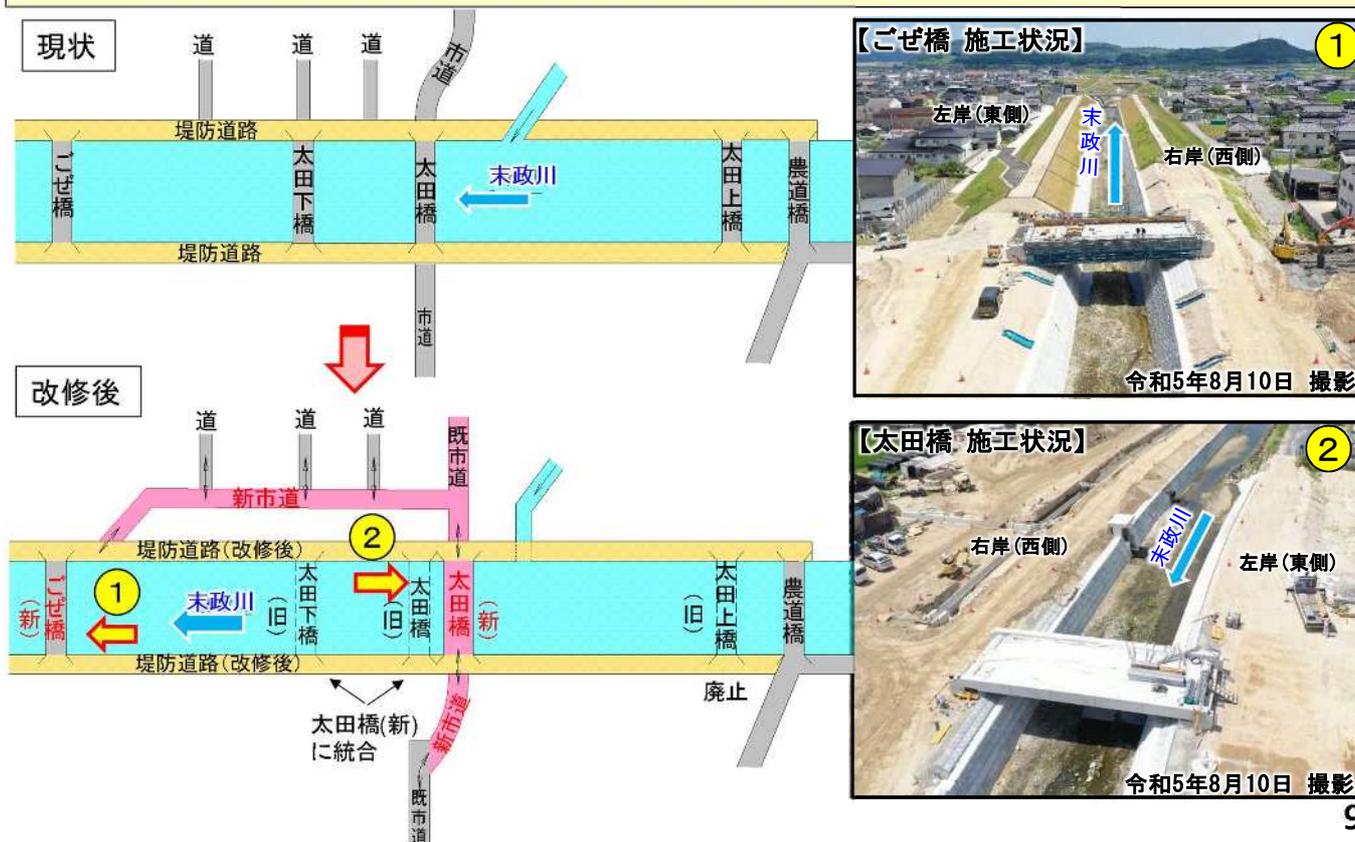
- 予定を3か月前倒しして工事完了し、令和4年12月26日に開通
- 末政川の堤防嵩上げに伴い、有井橋を堤防より高い位置で架け替えるため、陸閘構造が解消。車道と歩道も拡幅し、増水時でも災害時の避難や緊急車両の通行が可能



【令和4年12月撮影】

末政川の河川工事に伴う橋梁改良の工事状況（県）

- 末政川の堤防強化等に伴い、ごぜ橋(県管理)を架替え
- 近接する太田下橋と太田橋を統合し、新しい太田橋（幅員 6 m）の新設工事を実施



仮橋完成に伴う国道486号川辺橋の通行再開（県）

- 5月8日から通行止めとなっていた川辺橋（歩行者・自転車専用）は、県が、7月25日（火）から仮橋設置工事に着手し、8月30日（水）に完成
- 9月1日（金）午前6時から川辺橋の通行が再開



川辺橋（歩行者・自転車用側道橋）の仮橋設置状況
（延長 8.5 m、幅 3 m、橋脚 2 基）

2.まびふれあい公園の整備



【小田川堤防道路でサイクリング】

11

まびふれあい公園の整備



- 6月29日に、復興防災公園（仮称）の名称を「まびふれあい公園」に決定
- 7月7日・8日に、公園の一部となる小田川河川敷で芝生化イベントを実施
- 芝生化イベントには、市民約600人が参加し、小田川河川敷の約10,000㎡に41,000株の芝生の苗を植え付けした



地元小中学生や、まちづくり協議会メンバーなど、地元の方々が参加



12

○ 令和5年度末の完成をめざして公園の整備工事を実施中

【令和5年9月13日撮影】

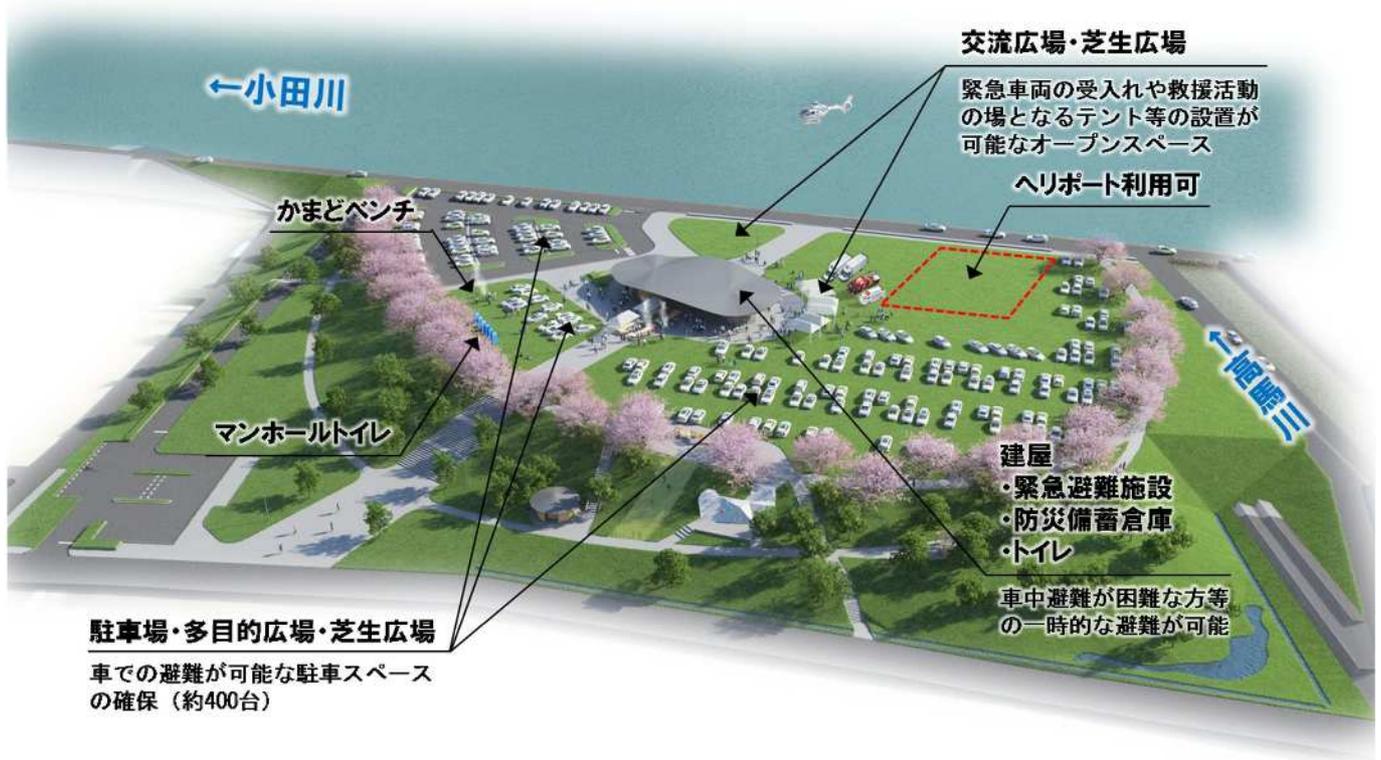


完成イメージ（平常時）



※完成イメージのため、今後の工事により、変更することがあります。

完成イメージ（災害時）



※完成イメージのため、今後の工事により、変更することがあります。 15

3.生活支援などの状況



【再建した住まいを望む(真備支所周辺)】

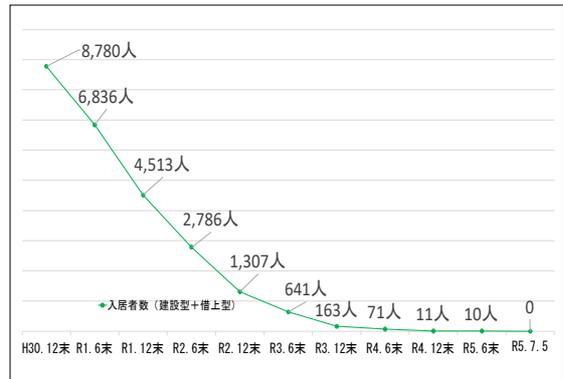
- 令和4年9月までに、建設型仮設住宅の全入居者が退去
- その他の仮設住宅入居者も住まいの再建が進み、令和5年7月5日までに供与終了

入居等の状況

建設型仮設住宅	0戸	0人
借上型仮設住宅	0戸	0人
公営住宅等（一時入居）	0戸	0人
応急修理の申込（R2年12月で完了）	1,033件	
リバースモーゲージ型融資の申込	143件	
住宅災害復旧等利子補給金の申込	586件	

※令和5年8月末時点（真備地区における被災世帯）

【仮設住宅における入居者の推移】



○ 真備地区の民間賃貸住宅に、現在、11世帯が入居

- ・ 倉敷市被災者向け民間賃貸住宅家賃助成事業を活用

○ 災害復興住宅融資（高齢者向け返済特例・倉敷市補助型）の申請期限の延長

- ・ 令和6年3月末日まで延長

被災者見守り・相談支援

○ 「倉敷市真備支え合いセンター」が、現在、以下の取組を実施

訪問世帯数：延べ約47,620世帯 ※令和5年9月末時点
10世帯に定期的な訪問を実施

- ・ 個別訪問を行い、見守りや生活上の困りごと等の傾聴・支援機関への繋ぎ等を実施
- ・ 個別支援会議等により、課題を抱えている世帯の生活再建に向けた支援を実施

設置場所：真備保健福祉会館（真備支所の隣）

職員数：4人

※倉敷市社会福祉協議会に委託



真備支え合いセンターが送付した「絵手紙」

4. 地域防災力向上への取り組み



【令和4年11月12日撮影】

【倉敷市総合防災訓練の実施状況】



【令和5年6月24日撮影】

【倉敷市水害対応訓練の実施状況】

避難地・避難路の整備（岡田小）



- 指定避難所である岡田小学校の避難地・避難路整備工事が令和5年3月に完成
- 新たに整備した避難地は約0.2ヘクタール、災害時には約90台の車が駐車可能
避難路は道路幅を4mから7mに拡幅



【駐車場】
面積 0.2ha
約90台分

岡田
小学校

【道路拡幅】
幅 4m→7m

【令和5年6月撮影】

駐車場 約0.2ha（約90台分）
 平常時：小学校敷地
 災害時：避難地
 道路拡幅 4m⇒7mへ拡幅
 平常時：通学路
 災害時：避難路

地域
意見を
反映



岡田小学校避難所の状況
（平成30年7月豪雨）



被災地の方と行政職員による
ワークショップを開催
（令和元年度）

○ 倉敷市の地域性を反映することや、児童生徒が災害に対して「わがこと意識」を高め、「自助」「共助」の姿勢をもつことを重点とした防災教育を推進

【新たな取組】

- ・ 全市立小学校（61校）の3年生、5年生に新たに3時間の防災学習（総合的な学習の時間）を追加し、全ての学校で共通した内容を指導
- ・ 防災教育の視点を盛り込んだ小学3・4年生社会科副読本作成支援
- ・ マイ・タイムライン検討ツール「逃げキッド」、倉敷市洪水・土砂災害ハザードマップの市内全小学校への配付など
- ・ 令和4年度からは、全市立中学校（26校）の2年生においても新たな防災学習（総合的な学習の時間）を実施



地震時に備えた防災学習（消防庁の小学校でのモデル事業）



【令和5年9月1日撮影】



（「自助」だけでなく「共助」の姿勢をもつための中学校でのモデル授業）



（マイ・タイムライン検討ツール「逃げキッド」を活用した学習）



（防災安全マップ作成のためのフィールドワーク資料）



（小学校社会科副読本）

地域防災力の強化

○ 防災・減災のために、地域の防災力を強化しよう！

【自主防災組織の設立】

いざというときお互い助け合うため、平常時から防災・減災活動を行う組織です。

令和5年9月1日現在

- ・ 494団体（うち、**真備地区54組織**）
- ・ 組織カバー率 80.14%

※組織カバー率＝

組織がその活動範囲としている地域の世帯数／管内世帯数



【地区防災計画の策定】

災害が起きた時に、住民の力を結集して命や財産を守ることを目指す計画で、住民等が自ら策定するものです。

- ・ 現在7地区で策定済み（うち、**真備地区4地区**）
- ・ R5年度3地区で策定予定（うち、**真備地区1地区**）
- ・ R5年度26地区で取り組み中（うち、**真備地区6地区**）



○総合防災訓練として、「防災フェア、地区訓練、防災講演会」を実施

【くらしき防災フェア】

日時: 令和5年11月23日(木)10時～16時
 会場: 水島中央公園
 (令和4年度から開催、令和4年度約1万人来場)



【令和4年11月5日撮影】
くらしき防災フェアの様子

【総合防災訓練「地区訓練」】（継続）

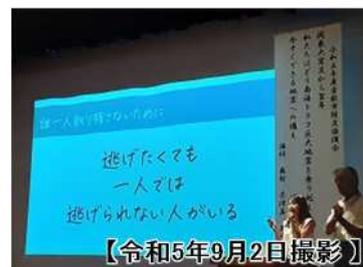
日時: 令和5年10月から12月の間
 会場: 各地区
 訓練対象: 各自主防災組織



【令和4年11月5日撮影】
地区の避難訓練の様子

【防災講演会】（継続、260人来場）

日時: 令和5年9月2日(土)14時～15時30分
 会場: 水島公民館
 講演内容: 関東大震災から100年
 講師: 奥村奈津美(フリーアナウンサー)



【令和5年9月2日撮影】
防災講演会の様子 25

他市町への災害支援

- 令和5年6月からの大雨により浸水被害が発生した他市町への災害支援
- 令和5年度は、出水期の大雨による浸水被害で和歌山県（海南市・橋本市・かつらぎ町）、福岡県（久留米市）、秋田県（秋田市）へ支援物資・職員等を派遣

（1）和歌山県海南市・橋本市・かつらぎ町

令和5年6月の大雨により浸水被害などが発生した海南市・橋本市・かつらぎ町に向けて、支援物資を積んだ車両と職員4人を派遣するとともに、海南市に向けて、災害廃棄物を搬送する車両と職員6人を派遣（派遣期間6月5日～12日 延べ54人）

（2）福岡県久留米市

令和5年7月の大雨により浸水被害などが発生した久留米市に向けて、支援物資を積んだ車両と職員4人を派遣（派遣期間7月1日～14日 延べ14人）。社会福祉協議会より、現地災害ボランティアセンターに職員5人を派遣

（3）秋田県秋田市

令和5年7月の大雨により浸水被害などが発生した秋田市へ支援物資の提供と家屋調査及び罹災証明の発行支援のため職員10人を派遣（派遣期間8月3日～27日 延べ66人）

【和歌山県海南市・橋本市・かつらぎ町】

【福岡県久留米市】

【秋田県秋田市】



支援物資の提供等



災害廃棄物処理



支援物資の提供等



関係部署との協議



被災家屋調査

- 気候変動を踏まえた水災害対策に向けて、河川流域の全ての関係者が協働して流域全体で行う治水対策である「流域治水」の推進
- 高梁川水系では、令和3年3月に「高梁川水系流域治水プロジェクト」を策定公表
- ハード・ソフト一体となった事前防災対策をより一層加速化



主な取組み

【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- ・農業用排水機を活用した予備排水
- ・用水路の事前水位低下による雨水貯留
- ・透水性舗装を用いた歩道整備 等

【被害対象を減少させるための対策】

- ・水害リスクを考慮したまちづくりの推進
- ・浸水に強い住宅の建て方等の普及促進 等

【被害の軽減, 早期復旧・復興のための対策】

- ・小中学生を対象とした防災教育の実施
- ・防災活動における拠点施設の整備
- ・SNSや防災ポータルによる情報発信 等



「田んぼダム」を実施している水田の排水イメージ

5. にぎわい創出に向けた取り組み



令和5年5月撮影

- 真備のにぎわい創出に向けて、まちづくり推進協議会や各種団体、市民活動団体などが行う活動を支援し、住民主体の地域づくりを促進

まちづくり推進協議会などへの活動支援

※令和5年8月末時点

- 7地区のまちづくり推進協議会の連絡会を定期開催し、地域の連携強化や情報共有、イベントなどの活動を支援

・連絡会の開催状況（R30年度：6回、R1年度：8回、R2年度：11回、R3年度：13回、R4年度：11回、R5年度5回）

地域集会所設置費補助金

※令和5年8月末時点

- 被災した地域集会所の復旧に向けた補助制度の拡充（補助率1/2→5/6）（H31.4.1施行）

・補助対象集会所 30件
実績：20件（R1年度：7件、R2年度：7件、R3年度：2件（4件分）、R5年度：2件）



【地域集会所の復旧状況】
令和5年度 新築（箭田地区）

市民企画提案事業

※令和6年度分の募集は、10月から開始予定

- 地域の身近な課題を解決するため、市民活動団体と市が一緒になって実施する協働事業や、市民活動団体が単独で実施する公益的な自主事業を募集

・R5年度採択事業※ 平成30年西日本豪雨災害の真備町被災者による「語り部」活動支援事業（語り部ネットワークまび）※真備地区を主な活動区域としている事業を抜粋 29

にぎわい創出（「真備・船穂総おどり」の開催）

- コロナウイルス感染症の影響で中止が続いていた「真備・船穂総おどり」を、令和5年7月15日に4年ぶりに開催
- 総おどりには過去最多の21団体から約1千人が参加し、約5,500人の方々が来場



総おどり「真備と船穂でひと踊り」
（箭田地区まちづくり推進協議会）



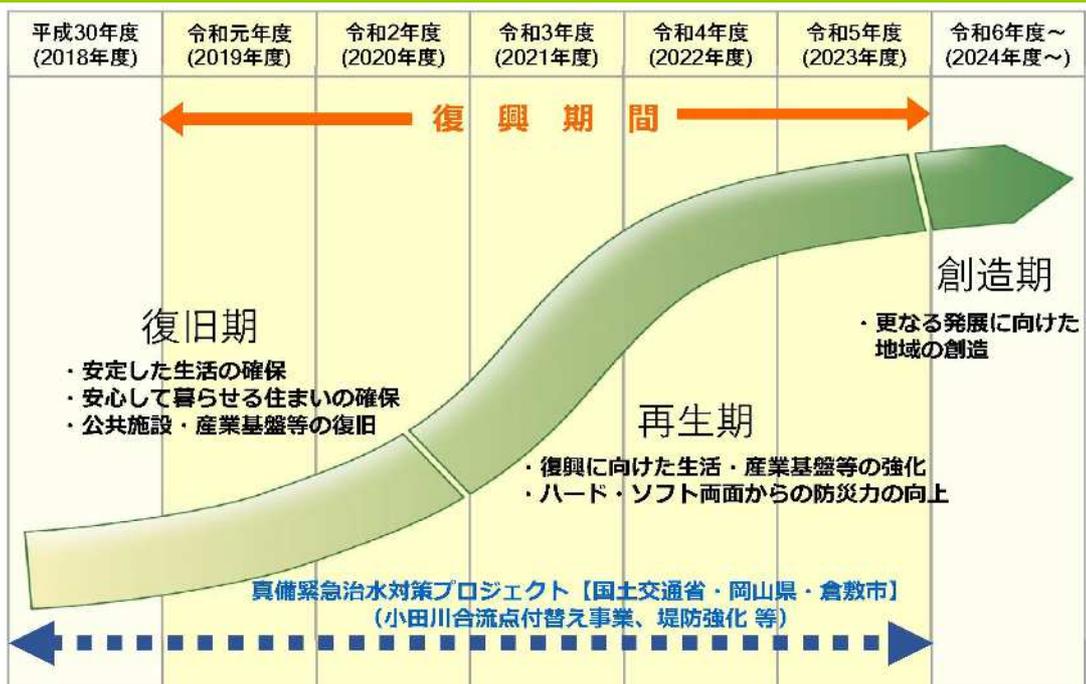
（上）吉備真備太鼓
（下）真備町竹のオーケストラ、M.K.B

- 復興を記念した市主催行事として、「真備復興記念シンポジウム」を、8月11日(金・祝日)にマービーふれあいセンターにて開催
- 地元中学校の吹奏楽部による演奏、直木賞作家の安部龍太郎氏による基調講演や、パネルディスカッションなどを実施し、多くの方々が来場



直木賞作家の安部龍太郎氏による基調講演

6. 真備地区復興計画の推進 (平成31年3月策定)



復旧・再生に関する取組に限らず、より長期的な将来を見据え、創造的な新しいまちづくりを推進するなど、『**復旧しながら、再生を図り、再生しながらより良い地域を創造していく**』ことを目指す。

